

令和7年度 授業改善推進プラン < 保健体育 >

練馬区立大泉西中学校

	課題分析	授業改善策	評価
1年	<p>○多くの生徒が授業に積極的に取り組んでいる。小学校の体育の授業と中学校の保健体育の授業の違いに戸惑いを見せている生徒がいると感じられた。中学生らしい規律を保ちつつ、生徒が主体的に活動できるように促していく必要があると考える。</p>	<p>○1学期に定着した集団行動を生かして、より生徒を観察して、一人一人が主体性を発揮できる声かけや授業の雰囲気づくりをしていく。</p>	<p>○チーム編成やシュート練習など、授業の一部を生徒に任せること、次に何をやるべきか考えて行動する場面を作った。今後は、チームで話し合い必要な練習を選択していくなど、徐々に生徒が自分たちの課題にあった活動を選択できるような場づくりを心がけてく。</p>
2年	<p>○多くの生徒が意欲的に学習に取り組むことができていたが指示や説明への理解度に開きが見られた。説明の際により効果的な方法を考える必要があると感じる。また、生徒が難しいと感じる内容についても積極的に挑戦できるような雰囲気づくりが必要と思われる。</p>	<p>○「できる」ことよりも「一生懸命にやる」ことの重要性を伝えるとともにそのことができている場合に積極的に評価する。さらにペア学習や教え合いの学習を通じて、仲間と共に努力する気持ちを持たせるようにする。そのことにより主体的に学習に取り組む態度や対話的な深い学びを目指していくようにする。</p>	<p>できていることを積極的に評価した結果、やろうとする生徒が増えた。また、説明方法を工夫しより丁寧に説明したところ、正しい動きができる生徒が増えた。対話的な深い学びに関しては、その機会をより増やしていくことが必要に思われる。次年度以降工夫し増やしていくようにしたい。</p>
3年	<p>○多くの生徒が授業への取組は積極的に行っている。しかし、学習カード等への継続的な取組及び提出に課題がみられる。振り返りを丁寧に行うことで、課題発見及び、知識技能の定着が図られると考える。そのため、継続的な声かけと、毎授業後の点検を行っていくことが必要だと考える。</p>	<p>○学習カードについては、毎時間毎に点検を行い、生徒が継続して取り組めるように確認を行う。また、生徒への授業内でのアプローチについては、説明時間を短くし活動時間を確保すると共に、授業内での振り返りの時間を設定できるように授業計画を行う。</p>	<p>○限られた単元ではあるが、毎時間ごとに学習カードを点検することができた。それにより、以前よりも生徒が振り返りを次の授業までに済ませ、課題を明確にした状態で取り組むことができた。また、実施にあたり電子での学習カードを活用したが、データの破損などが一部見られ、今後の運用方法を次年度以降も検討していく。</p>